

わかりやすい!



現場実践講師

明日から活用できる現場のノウハウ

安全な介護のリスクマネジメントセミナー

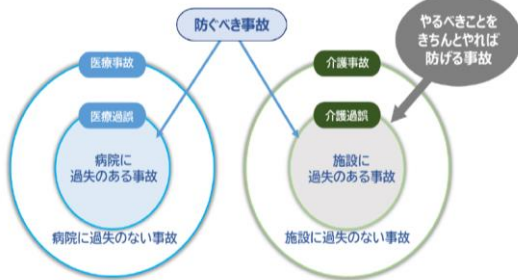
- ▶ 目からウロコ！ 全く新しい事故防止活動の進め方が学べる
- ▶ 事例を使った演習やグループ討議もできるから実践力がつく
- ▶ 現場で活用できる豊富なツールを提供、だから明日からすぐ使える

従来とは全く異なる 新しい事故防止の手法

全ての事故は防げない

防ぐべき事故と防げない事故に区分し
防ぐべき事故に防止対策を講じる

介護事故防止活動
の原点



みんなで考えれば楽しい グループ討議も!



現場ですぐに使える ツールがもらえる

私たち介護職員は、入居者様の転倒防止に取り組んでいます
ご家族のみなさまも協力をお願いします

<p>ひとりですり足でトイレに行く転倒するケース 施設内の転倒事故で多発しているのがひとりですり足で行くことによる転倒です。特に高齢や歩行能力が低下している方の転倒は、転倒の危険の少ないポータブルトイレや床ずれ防止マットの使用をお勧めします。</p>	<p>●ご家族へのお問い合わせ 介護職員に対する遠慮からご自分でトイレに行くこととする入居者様が多いです。ご家族から遠慮しない介護職員を呼ぶようにお願いします。</p>
<p>入所後期もない時期に転倒するケース 入所したばかりの時期は、施設の環境に慣れないため転倒の危険が高くなります。また、居室での生活環境の急激な変化から転倒が多くなる入居者様もいらっしゃいます。</p>	<p>●ご家族へのお問い合わせ 入所されてしばらくは、ご家族からも多歩行やベッド上の動作に対して注意を喚起していただき、また、自宅で安全に歩行できた方でもしばらくの間は直視されるようお願いいたします。</p>
<p>認知症のある入居者様のケース 認知症のある入居者様は、自分の転倒の危険を忘れてひとりですり足で行くことがあります。防止することが最も難しいケースです。</p>	<p>●ご家族へのお問い合わせ 認知症や痴呆があり転倒などの危険を冒してしまいう入居者様には、ご家族のご協力が必要ですが、転倒防止と同時に転倒した時のケガの防止についてもご協力ください。</p>
<p>歩行補助具を使用している転倒するケース 杖や歩行器など歩行に補助具を使用しても、必ず転倒を防止することができません。</p>	<p>●ご家族へのお問い合わせ 歩行補助具があっても転倒する</p>

※対面セミナーは全てオンラインでも対応できます